

|       |                        |       |       |
|-------|------------------------|-------|-------|
| クラス番号 | 913                    | 担当教員名 | 岡 久美子 |
| テーマ   | 地域福祉を創る・・・NPO から学ぶ地域と私 |       |       |

## ゼミナール概要

### <目的、内容、方法等>

- ・このゼミでは、学生が地域（知多半島にある NPO など）に出かけていき、人々とふれあい、地域社会の中に起きている問題を発見し、分析し、解決する方法を考えることのできる力を身につけることをねらいとします。
- ・地域に行き、問題意識を持って大学に戻り、大学での学習（振り返りや文献での学習や講義）に取り組むという学びのサイクルをつくることによって、地域福祉についての理解を深めます。
- ・こうした活動を行う際の一つの視点として、男らしさや女らしさあるいは男は仕事女は家庭などに象徴される、社会的・文化的・歴史的につくられた性のありよう（ジェンダー）、性（男女による二分法の性別や区別への疑問、セクシュアリティ）、家族などに関する社会問題についての基本的な知識を得るとともに、それらを構造的に考察できるようになることも目指します。
- ・授業は、グループワークを基本に進めます。サービスマーケティングの予定・進行に合わせてながら、どうアプローチするかはゼミ生の提案と工夫次第です。ゼミの進め方は、ゼミ生が自主的に運営されることを期待します。
- ・2015 年度には、美浜町商工会青年部とのコラボレーションで、「MIHAMA F-es in 2015 地域の魅力発掘市」（共催：日本福祉大学・美浜町）を 10 月 18 日に美浜町総合体育館全館を使用して開催しました。ゼミ生全員が、全体企画から広報や運営までを中心となって担い、地域や NPO の方々に提案し・交渉し・交流する中で、どんどん力をつけて輝いていきました。企画を実現する中で見えた課題等にも取り組むことで、次のステップへと歩みだしています。
- ・2016 年度は、NPO の活動を学び、各自が選んだ知多半島の NPO に出かけ、地域貢献活動をしました。後期は、活動の振り返りをしながら、地域課題について分析を始めています。

### <学習計画>

春休みに NPO 見学のバスツアーを行います（予定）

4・5 月 地域ニーズの把握（NPO 活動の取り組みを知る）

6・7 月 地域貢献活動の企画（自分たちで何ができるかを考え、計画を立てる）

8・9 月 NPO での地域貢献活動（6 日間）

10・11 月 活動の振り返り（10 月には活動先の NPO の方を交えて、活動の振り返り会）

12・1 月 活動報告会、学習のまとめ（12 月活動先の NPO や 2 年全体での報告会）

### 担当教員からのメッセージ



・人と人の「つながり」をつくりなおし、支えあって暮らしていける地域社会にすることによって、だれもが地域で生活できるようにすること（＝地域自立生活）をめざした活動が地域福祉です。地域福祉は、すべての社会福祉の基盤です。また、地域福祉を学ぶことは、本当の意味での「生活」（日々の暮らし、人生）とは何かを考えることでもあります。

・文献・資料をきちんと読めるようになること、それぞれのテーマについての考察を深められるようになること、それらを通じて社会構造と個人との関係の中で問題をとらえ課題の解決を考えられるようになること、コミュニケーション能力を高めることなどを目指します。「こんな地域をつくりたい」という夢を語り合いながら、どうしたらそれが実現できるかをみんなで一緒に考えていきましょう。